

茂呂つよし県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

孤立した被災地域へ

ドローンで物資輸送

活用、本県も検討を

地方創生に力を注いでいる八千代市選出の茂呂剛県議(3期)は2月定例県議会で登壇し、防災や交通問題、保育士不足の解消策などについて熊谷知事ら県執行部に尋ねました。茂呂県議は、能登半島地震でドローンが活躍した例を引き合いに出し、本県でも物資輸送にドローンの活用を検討する必要があるとして担当部長に質問、また、国道296号の渋滞解消の切り札として期待されている八千代バイパスの工事進捗よく状況を聞き、早期整備を要望しました。



県の施策について質問する茂呂剛県議

2月定例県議会一般質問

茂呂議員 能登半島地震において、道路の寸断により、支援物資の輸送が困難となり、孤立した地域の避難所にドローンを用いて医薬品等の輸送も行われたと聞いています。

本県においても支援物資の輸送ルートについて想定はされているとのことだが、今回の能登半島と同様の事

熊谷知事への質問

熊谷知事へ、熊谷知事への質問。熊谷知事への質問。熊谷知事への質問。

熊谷知事への質問。熊谷知事への質問。熊谷知事への質問。

熊谷知事への質問。熊谷知事への質問。熊谷知事への質問。

孤立状態への対応

孤立状態への対応。孤立状態への対応。孤立状態への対応。

孤立状態への対応。孤立状態への対応。孤立状態への対応。

孤立状態への対応。孤立状態への対応。孤立状態への対応。

望みます。茂呂議員 災害時にドローンによる輸送が早期にできるよう、県として進めていただくよう要望する。

広域防災拠点の機能運用訓練などで強化

茂呂議員 能登半島地震の状況を踏まえ、広域防災拠点の機能強化が必要と考えるが、県はどのように取り組んでいるのか。知事 能登半島地震においても、人命救助などの活動に従事する消防、警察、自衛隊の活動拠点の重要性が認識されており、あらかじめ、救援部隊の拠点を数多く確保しておくことが重要です。

県では、現在、33か所の広域防災拠点を指定してお

り、関係機関や施設管理者と連携し、連絡体制の確認や開設に向けた手順の共有を図っているほか、昨年11月には広域防災拠点のひとつである県総合スポーツセンターにおいて、消防機関が運用訓練を実施したところ。

今後、広域防災拠点の指定を進めるとともに、円滑な受け入れや迅速な運用に向けて訓練を行うなど、広域防災拠点の機能強化に取り組んでまいります。

また、緊急交通路を通行することができる車両に対しては、事前に対象車両であることを確認を行い、標章を交付しておくことで、発災後、対象車両が速やかに災害応急対策に従事できるように努めているところ。

警察本部長 県警では、災害発生時の交通の混乱を最小限に抑え、円滑な災害応急対策を図るため、千葉県地域防災計画で示された緊急輸送道路の1次路線を中心に緊急交通路を指定するなどの交通規制を実施し、災害応急対策に従事する車両を優先して通行させることとしていきます。

緊急交通路に指定し 災害対策車両を優先

茂呂議員 災害応急対策に従事する車両が緊急輸送道路を優先的かつ速やかに通行するための警察における取組はどうか。

警察本部長 県警では、災害発生時の交通の混乱を最小限に抑え、円滑な災害応急対策を図るため、千葉県地域防災計画で示された緊急輸送道路の1次路線を中心に緊急交通路を指定するなどの交通規制を実施し、災害応急対策に従事する車両を優先して通行させることとしていきます。

茂呂つよし・PROFILE

略歴

- 1968年 八千代市に生まれる
- 1987年 八千代松陰高校卒業
- 1992年 秀明大学卒業
- 1992年 イワキ(株)勤務
- 2006年 八千代市議会議員当選
- 2010年 八千代市議会議員再選
- 2014年 第36代八千代市議会副議長
- 2015年 千葉県議会選挙当選(3期)

現職

- 県議会 総合企画企業常任委員会委員
- 千葉県民間保育振興会会長

●県政に関するご相談を気軽にどうぞ

茂呂つよし 県事務所

276-0046 八千代市大和田新田1092-7
TEL 047-480-0244
FAX 047-458-7033

茂呂つよし県議会報告



県の答弁に対して要望する茂呂県議

国道296号の慢性渋滞解消へ

八千代バイパスの早期全線開通要望

茂呂議員 八千代市は、道路や鉄道など交通の要衝であり、市内には3つの工業団地が形成されるなど工業も盛ん。この工業地帯の物流については、主に国道296号や国道296号が担っているが、国道296号については、沿道開発の進展により、物流道路としての役割と生活道路としての役割が混在しており、慢性的に渋滞が発生している。八千代市においても、広域防災拠点に指定されている「道の駅やちよ」と市街化地域等へのアクセス性を確保する必要がある。このため、交通の分散化を図るとともに、災害に強く、円滑な交通を確保するため、国道296号八千代バイパスの一日も早い整備が必要。そこで、沿道開発の進展状況はどうか。県土整備部長 当該道路は、国道296号の交通混雑の緩和を図るため、佐倉市と八千代市にまたがる5.2キロメートルをバイパスとして整備するものであり、これまで3.7キロメートルを供用しています。残る八千代市内の1.5キロメートルは、まとまった用地が確保できた箇所から、道路改良工事や橋梁工事を進めており、現在(仮称)上高野2号橋の下部工が完成し、これに続く上部工に着手したところです。引き続き、地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、残る用地の取得を進めるとともに、八千代市と連携し、事業を推進してまいります。

(仮称)幕張千葉ニュータウン線

茂呂議員 (仮称)幕張千葉ニュータウン線の八千代市域における検討状況はどうか。県土整備部 この道路は、平成8年3月に策定した「ちば新時代5か年計画」に位置付けられたものであり、幕張新都心と千葉ニュータウンを結ぶ構想です。計画では、習志野市や八千代市の既存の都市計画道路などを活用するルートを想定していますが、都市計画道路がつながっていない陸上自衛隊習志野駐屯地周辺において、駐屯地を迂回するルートの検討が大きな課題となっています。今後も引き続き、交通上の課題や周辺地域のまちづくりを踏まえた迂回路について、地元市と意見交換を行うなど、検討を深めてまいります。

陸自習志野駐屯地の迂回路が課題に

陸上自衛隊習志野駐屯地周辺において、駐屯地を迂回するルートの検討が大きな課題となっています。今後も引き続き、交通上の課題や周辺地域のまちづくりを踏まえた迂回路について、地元市と意見交換を行うなど、検討を深めてまいります。

茂呂議員 今後、引き続き、八千代市と十分に連携し、(仮称)幕張千葉ニュータウン線の計画の早期具体化を要望する。

保健医療担当部長 災害時、医療機関や薬局など

茂呂議員 キャンピングカーなどを改造し、薬局の機能を備えた災害対策の医薬品供給車両であるモバイルファーマシーの有効性についてどのように考えるか。

災害時医薬品供給車両で

茂呂議員 災害時に、被災現場で調剤が可能となるなど、非常に有用と考える。災害時に速やかに出動できるように、平時から関係団体と協議を進めていただくよう要望する。

茂呂議員 市町村が行う、管理されていない空き家への対策について、県はどのように支援していくのか。都市整備局長 適切な管理が行われず、倒壊のおそれがある空き家については、市町村が所有者に対し、指導や勧告を行っており、改善がなされない場合は、代執行を行うこととなります。県では、市町村や関係団体と構成する協議会に「空家等対策検討部会」を設置し、空き家法の改正内容や、代執行を実施した事例の情報提供等を行うなど、市町村の取組を支援しているところです。また、来年度からは、市町村が実施する空き家の除却に対し、財政的な支援を行うとともに、改正法の内容を踏まえたマニュアルの整備を行うなど、引き続き、市町村の事務が円滑に行われるよう、支援してまいります。

危険な空き家の解体代執行 県、市町村に財政支援

設置し、空き家法の改正内容や、代執行を実施した事例の情報提供等を行うなど、市町村の取組を支援しているところです。また、来年度からは、市町村が実施する空き家の除却に対し、財政的な支援を行うとともに、改正法の内容を踏まえたマニュアルの整備を行うなど、引き続き、市町村の事務が円滑に行われるよう、支援してまいります。

茂呂議員 保育士はやりがいがある一方で離職率も高いことから、保育士不足は依然として大きな課題となつていて、保育の質の向上にあわせ、今後、保育士の人材確保が一層求められるが、県ではどのように取り組んでいくのか。健康福祉部長 保育所等の待機児童数は減少傾向にあるものの、保育現場における保育士は、依然として不足している状況があると認識しています。県では、保育士の人材確保のため、保育士の資格取得を目指す学生への修学資金の貸付や「ちば保育士・保育所支援センター」における潜在保育士等と事業所のマッチングを始め、保育の実施主体である市町村と連携し、民間保育施設等で勤務する保育士の給与に助成を行うなどの取組を行っています。さらに、今年度は県外の保育士養成施設も訪問し、保育士の資格取得後のセンターへの登録について呼びかけを行っており、引き続き、保育現場に必要な保育士が配置できるよう、関係機関や市町村等と連携しながら、保育士の確保に取り組んでまいります。

保育士不足打開へ 県外養成施設も訪問

保育士は依然として大きな課題となつていて、保育の質の向上にあわせ、今後、保育士の人材確保が一層求められるが、県ではどのように取り組んでいくのか。健康福祉部長 保育所等の待機児童数は減少傾向にあるものの、保育現場における保育士は、依然として不足している状況があると認識しています。県では、保育士の人材確保のため、保育士の資格取得を目指す学生への修学資金の貸付や「ちば保育士・保育所支援センター」における潜在保育士等と事業所のマッチングを始め、保育の実施主体である市町村と連携し、民間保育施設等で勤務する保育士の給与に助成を行うなどの取組を行っています。さらに、今年度は県外の保育士養成施設も訪問し、保育士の資格取得後のセンターへの登録について呼びかけを行っており、引き続き、保育現場に必要な保育士が配置できるよう、関係機関や市町村等と連携しながら、保育士の確保に取り組んでまいります。

モバイルファーマシー 走る被災地で活躍

あるモバイルファーマシーは、能登半島地震をはじめとした様々な災害時に、出動実績があり、県内においても、八千代市薬剤師会が一台運用しており、災害時には千葉県薬剤師会に貸し出して、県内及び全国へ出動できる体制となつています。

茂呂議員 災害時に、被災現場で調剤が可能となるなど、非常に有用と考える。災害時に速やかに出動できるように、平時から関係団体と協議を進めていただくよう要望する。

要望 96号八千代バイパスの早期整備のため、県と

八千代市で連携し、用地取得の様々な手法を検討し、事業を進めるよう要望させていただきます。

健康福祉部長 保育所等の待機児童数は減少傾向にあるものの、保育現場における保育士は、依然として不足している状況があると認識しています。県では、保育士の人材確保のため、保育士の資格取得を目指す学生への修学資金の貸付や「ちば保育士・保育所支援センター」における潜在保育士等と事業所のマッチングを始め、保育の実施主体である市町村と連携し、民間保育施設等で勤務する保育士の給与に助成を行うなどの取組を行っています。さらに、今年度は県外の保育士養成施設も訪問し、保育士の資格取得後のセンターへの登録について呼びかけを行っており、引き続き、保育現場に必要な保育士が配置できるよう、関係機関や市町村等と連携しながら、保育士の確保に取り組んでまいります。